

# ストック効果② 配送体制の見直しによる生産性の向上

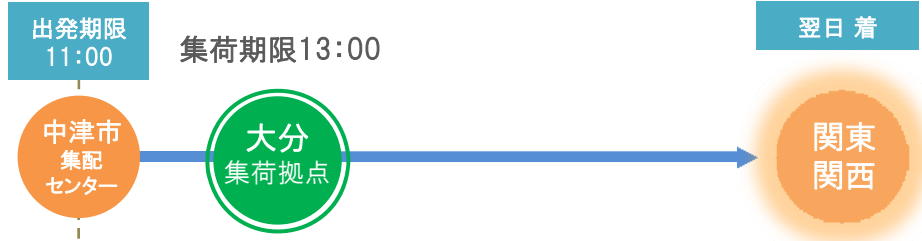


- ・集荷拠点の見直しにより、中津市（大分県）の農水産物等の集荷可能時間が大幅に増加。
- ・中津市の養殖牡蠣「ひがた美人」の関東への出荷量が約4割増加。

## ■ 運送事業者の配送体制見直し事例

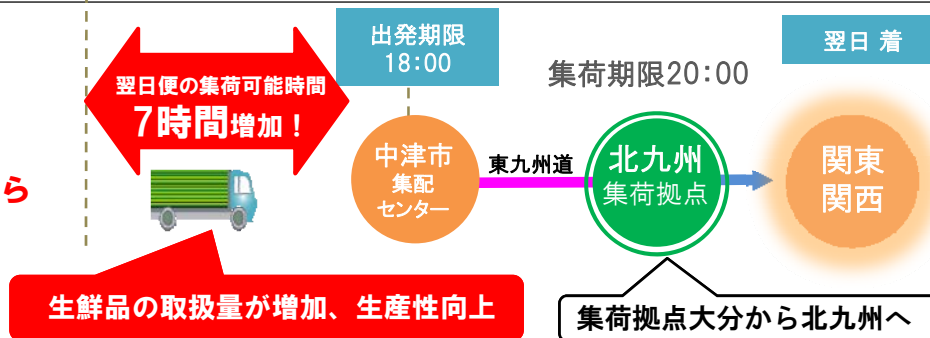
### 【開通前】

中津市の荷物は、  
**「大分集荷拠点」に集約後、**  
関東・関西方面へ運送



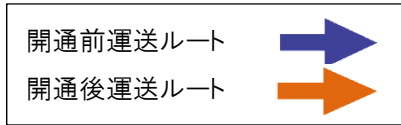
### 【開通後】

東九州道の開通による  
取扱量増加を見越し、  
集荷拠点を「大分拠点」から  
「北九州拠点」へ変更

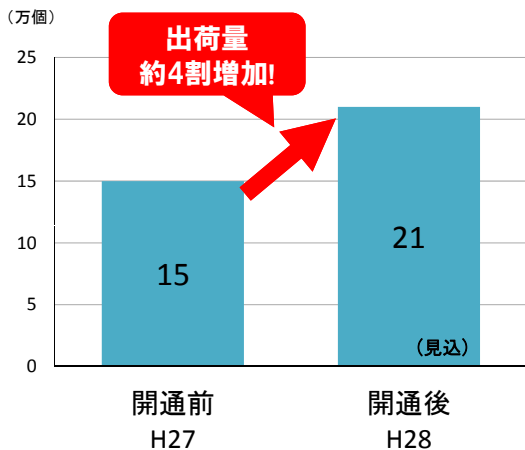


### 【運送事業者の声】

東九州道整備に伴う企業進出により、取扱貨物量が増えることを見越し、  
集荷拠点の見直しを実施しました。  
その結果、関東方面翌日便の集荷期限が7時間増え、生鮮品の取扱量  
が増加しています。



## ■ 干潟養殖牡蠣「ひがた美人」 開通前後の出荷量



### 【大分県漁業協同組合 中津支店の声】

平成26年から国内初となる干潟養殖牡蠣「ひがた美人」の販売を開始しました。  
集荷時間が拡大し、関東方面の昼からの電話注文でも翌日着が可能となり、非常に助かっています。  
今後も、ニーズが多い関東方面への出荷を戦略的に行っていきたい。

